

# ネオリバー泥パックIW 試験施工

## 目 次

|             |   |
|-------------|---|
| 1. 試験施工の目的  | 1 |
| 2. 試験施工内容   | 1 |
| 3. 試験施工作業工程 | 2 |
| 4. 試験施工機材   | 3 |

三彩化工株式会社

## 1. 試験施工の目的

現場にて『ネオリバー泥パックIW』が対応できるかを確認する。  
剥離剤トータル使用量・放置時間・1回当たりの塗付量を算出する。

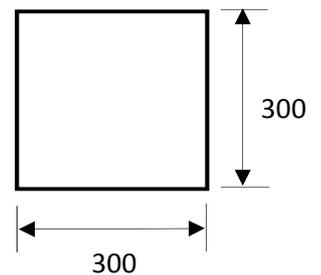
## 2. 試験施工方法

1) 試験施工箇所の確定 既存塗膜の劣化が異なる為、外壁の四方(東西南北)で試験施工を行う。  
一面のみ試験施工を行う場合、あまり劣化されていない面を選ぶ。

2) 対象塗膜厚の確認 現地テストの際に塗膜の厚さを確認する。

3) 塗付箇所 試験部位面積は、30cm角で行う。施工現場の状況により変更。  
1箇所もしくは塗付量を変えて2箇所行う。

4) 塗付量 塗膜の厚さ以上の剥離剤を塗付する。  
例) 塗膜の厚さ1mmの場合、剥離剤を1mm以上塗付。  
塗付量を変えて行う場合、剥離剤1mmと2mmなど。  
剥離剤1mmで塗付量は約1.0kg/m<sup>2</sup>。



5) 塗付方法 万能ガン・刷毛

### 塗付量確認

<ウェットゲージ> 剥離剤を塗付し、ウェットゲージにて塗付量を確認する。

1mm=1,000 μ (ウェットゲージの1,000)、2mm=2,000 μ (ウェットゲージの2,000)

<重量> 剥離剤の重量を量って塗付量を確認する場合、

30cm角に約100gで約1.0kg/m<sup>2</sup>換算、30cm角に約200gで約2.0kg/m<sup>2</sup>換算

6) 養生 マスカー等による養生

7) 放置 48時間以上放置

8) 旧塗膜除去方法 刃付スクレーパー・カワスキ等

寒くなると剥離剤が効きにくい為、  
放置時間を長くする必要があります。  
48時間の放置で効きが悪い場合は  
さらに24時間放置して下さい。

### 9) スケジュール

|       | 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 準備    | ●   |     |     |     |
| 剥離剤塗付 | ●   |     |     |     |
| 放置    | →   |     |     |     |
| 掻き取り  |     |     | ●   | ●   |

### 懸念事項

標準は1回作業。ただし、1回の作業で下地まで剥離が行えない場合がある。  
風雨による、剥離剤及び剥離剤を含んだ塗膜の脱落。  
効率よく、剥離剤の塗付・ケレンを行える工具の選定。  
剥離後の残存物にアスベストが含有している場合がある。

### 3. 試験施工作業工程

| 作業順序                | 作業のポイント  | 安全のポイント   |
|---------------------|--|---|
| 塗付箇所周辺養生            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不必要な箇所に付着しないように養生する。</li> <li>・特に足場の隙間から、漏れないように目張りを行なう。</li> <li>・塗付位置・面積を確認しながら仕切りテープを貼る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護帽・安全帯の着用。</li> <li>・足元に充分注意する。</li> <li>・キャップライトを着用する。</li> <li>・投光器を設置する。</li> </ul>         |
| 既存膜厚の確認             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存膜厚を確認する。</li> <li>・状況写真を撮る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護帽の着用。</li> <li>・足元に充分注意する。</li> </ul>   |
| 塗付準備                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体足場上にブルーシートを敷いて剥離剤・万能ガン等を用意する。</li> <li>・照明を充分に確保して作業する。</li> <li>・作業手順の再確認を行なう。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手元・足元に十分注意する。</li> </ul>  |
| 剥離剤塗付面積<br>剥離剤の計量確認 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計量前に剥離剤を充分に攪拌する。</li> <li>・剥離剤の計量する。(塗付量を重量で確認する場合)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防護眼鏡、保護マスクを着用する。</li> <li>・手袋は、剥離剤に侵されない材質のものを着用する。</li> <li>・剥離剤が飛散しても良いように長袖を着用する。</li> </ul> |
| 剥離剤塗付               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計量を塗付する。</li> <li>・万能ガン・刷毛などを使用する。</li> <li>・ウェットゲージで塗付量を確認する。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・足場、足元の確認。</li> </ul>  |
| 2晩放置                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不要な資機材は、速やかに片付ける。</li> <li>・最低48時間以上</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛散物のないように注意する。</li> </ul>   |
| 翌日旧塗膜除去             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・刃付スクレーパーなどで旧塗膜を除去する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・刃付スクレーパーで怪我をしないよう充分注意する。</li> <li>・保護帽、防護眼鏡を使用する。</li> <li>・足元が滑りやすいので充分注意する。</li> </ul>        |
| 除去塗膜清掃片付け           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・除去塗膜は、アスベスト廃棄袋に集積する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者がむやみに触れないよう防護措置をする。</li> </ul>   |

塗膜残の場合は作業繰返し



#### 4. 試験施工機材

使用資機材一覧表

| 資機材名称        | 仕様   | 数量   | 備考          |
|--------------|------|------|-------------|
| ネオリバー泥パックW   |      | 適量   |             |
| ウエス          |      | 適量   |             |
| マスキングテープ     | 現場適用 | 適宜   | ※養生他        |
| メジャー         |      | 1本   | 30cm角作成の為   |
| 養生テープ        |      | 適宜   | ※養生他        |
| ガムテープ        | 布製   | 適宜   | ※養生他        |
| マジック・チョーク    |      | 適宜   | ※膜厚記入用      |
| ウェットゲージ      |      | 1本   |             |
| 計量用台秤        |      | 1台   | ※重量による塗付量確認 |
| 計量カップ        |      | 1ヶ以上 | ※重量による塗付量確認 |
| 万能ガン・刷毛      |      | 1本以上 |             |
| 刃付スクレーパー     |      | 適宜   | ※旧塗膜除去用     |
| ホーキ・ちりとり     |      | 各1本  |             |
| 投光器          |      | 1台   | ※現場状況に応じて   |
| アスベスト廃棄袋・ポリ袋 |      | 適宜   | ※旧塗膜回収用     |